

# 東京札幌会 2024秋のイベントのご案内

～9月中旬3連休の初日、東京札幌会の仲間と北海道のワインを学び・懇親を深めましょう!～

【日時】 **9月14日(土)午後3時(第一部開始)～7時(第二部終了)** ⇒【申込締切】 **9月5日(木)必着**

※① 申込締切後の参加希望、出欠の変更等は、下記【お問い合わせ先(東京札幌会事務局)】にご連絡ください。

※② 前日～当日の欠席等の連絡は【090-8776-7904(幹事長・道見)】まで(留守番電話へのメッセージ可)。

※③ 第二部を無断欠席の場合、キャンセルチャージ(会費全額)が発生しますことを、ご承知おき願います。

## 第一部 ワイン講座 & 試飲会

### 「北海道のワイナリー、その魅力と可能性」

#### ●会場 **TIME SHARING 飯田橋 第二東文堂ビル**

新宿区揚場町 2-16 第二東文堂ビル 7 階

〈JR「飯田橋駅」東口〉 徒歩 4 分

〈東京メトロ南北線・有楽町線・東西線「飯田橋駅」C1 出口〉

徒歩 1 分→第二東文堂ビルのエレベーターで 7 階へ

#### ●開始 午後**3時**～(受付:午後 2 時 50 分～)

#### ●会費 会員 **3,000 円** 非会員 **3,500 円**

※いずれもお 1 人様。20 歳未満の同伴者は無料

#### ●講師 **山本光子**(やまもと・てるこ)氏

(一社)日本ワイナリーアワード協議会 専務理事・事務局長

※プロフィール等は裏面をご覧ください。

ワインの試飲ができない方(お酒が飲めない、未成年の同伴者など)にはスペシャルな葡萄木から作られた「ぶどうジュース」を用意しています。



セントラルプラザ 20 階  
「北海道愛食大使」  
認定店  
北の味紀行と地酒  
北海道

北海道産食材を愛し積極的に使用し、お客様に品質の良い料理を提供するお店として認定。気の合う仲間と、懐かしい味、新しい味に出会える、北海道の小旅行気分を存分にお楽しみ下さい。

終了後、第一部のみ参加者は解散。第二部参加者は徒歩で移動

## 第二部「秋のつどい」⇒「北海道愛食大使」認定店で

北海道の味覚を楽しみ、懇親を深めましょう!

#### ●会場 **北海道 飯田橋駅前店** TEL.03-5225-2878

新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 20 階

〈JR「飯田橋駅」西口〉〈東京メトロ南北線・有楽町線・東西線「飯田橋駅」B2b 出口〉

徒歩 1 分→セントラルプラザビルエレベーターで 20 階へ

#### ●開始 午後**4時 50 分**～(受付:午後 4 時 40 分～)※第二部からの参加者は直接、会場へお越し下さい

#### ●会費 会員 **4,000 円** 非会員 **4,500 円** ※いずれもお一人様。同伴の未就学児は無料

料理 8 品、2 時間プレミアム飲み放題付き!  
ビル 20 階から眺める東京の夜景のパノラマ展望もお楽しみいただけます!!



今後、変更があった場合は、東京札幌会のホームページに掲載するとともに、メーリングリスト登録者に一齐送信し、参加申込者には個別に連絡いたします。

東京札幌会ホームページ

<http://www.tokyosapporokai.com/>

※QRコードを読み取るとご覧いただけます⇒



【お申込み & お問い合わせ先】札幌市東京事務所内「東京札幌会事務局」担当:後藤、小村まで

同封の「返信用ハガキ」または下記宛の「電話」「ファックス」「Eメール」でご連絡下さい

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 3 階

TEL.03-3216-5090/FAX.03-3216-5199/E-mail:tk sapporokai@gmail.com

# 2024 秋のイベント★第一部・ワイン講座〈講師のご紹介〉

一般社団法人 日本ワイナリーアワード協議会 専務理事・事務局長

山本 光子さん (東京札幌会会員)



札幌西高校を経て1983年北海道大学法学部卒業。

以後、日本リクルートセンター、西武百貨店本部営業企画室、札幌西武(西武百貨店札幌店)を経て、2001年(株)NTT ドコモ北海道・販売促進担当部長、マーケティング部長。

2004年(株)電通北海道に転じ、第1回日中韓観光大臣会合、洞爺湖サミット記念北海道環境総合展、エゾシカ利用促進事業、アイヌ文化啓発「イランカラブテキャンペーン」、食と環境・国際フォーラム、ミシュランガイド北海道2012などプロデュース多数。2014年(株)ぐるなびへ。上席執行役員プロモーション部門長に就任。政府の六次化企業取締役や一般社団法人 ONSEN・ガストロミーツーリズム推進機構専務理事など兼任。

2020年2月発足の一般社団法人 日本ワイナリーアワード協議会に設立メンバーとして関わり、理事・事務局長に就任。

2020年4月より立命館大学食マネジメント学部客員教授。

2022年8月より合同会社 Food and Value Entertainment 代表執行社員兼エグゼクティブプロデューサー。京都・日本橋はじめ日本各地の食・観光関係とのリレーションが深く、海外とのコラボレーションにも取り組んでいる。

2022~2023年にはDX企業、SNSマーケティング会社にも参加し、Chief Public Relations Officer、Executive Producerとして活動。北海道シンガポール友好協会会員。日本広報学会会員。日本サウナ学会会員。ポルドー騎士団コマンドウール。

## ～知らなかった北海道のワインの魅力と可能性を学び、なかなか飲めない希少なワインを味わいましょう!～

東京札幌会だより 第54号 2024(令和6)年6月発行

開拓使が「札幌葡萄酒醸造所」を開設した1876(明治9)年、北海道初のワイン醸造が行われた。その後、民間(長州の桂 二郎)に払い下げになった同醸造所は、1891(同24)年に札幌の実業家・谷七太郎に売却されたが、1913(大正2)年には廃業。札幌市内で再びワイン醸造が行われたのは88年後の2001(平成13)年だった。



▲1876(明治9)年に開拓使が太政官に提出した製糸所、葡萄酒製造(醸造)所、麦酒製造(醸造)所の写真。葡萄酒・麦酒醸造所は同年9月に建設。

◀八剣山ワイナリー・八剣山キッチン&マルシェ(ワイナリー敷地内に併設のイートインレストランとショッピングコーナー) / 〒061-2275 南区砥山194-1 / TEL.&FAX.011-596-5778 / 定休日・営業時間はホームページ「お知らせ」を参照

▼さっぽろ藤野ワイナリー / 〒061-2271 南区藤野670-1 / TEL.011-593-8700 / FAX.011-596-9377 / 営業時間(定休日・火曜日) 11:00~17:00 / 敷地内に「カフェ&レストラン ヴィーニュ」を併設



▲さっぽろワイン株式会社 / 〒006-0805 手稲区新発寒5-1-6-1 / 新発寒醸造所・事務所(営業日・月・火・水) TEL.011-681-0213、同・直売ショップ(営業日・木・金・土・日・祝 / 11:00~17:00) TEL.011-215-5796 / FAX. 011-215-5798 / 醸造所とともに札幌市に手稲前田ヴィンヤード(上の写真)と新琴似ヴィンヤード、石狩市に八幡ヴィンヤード&ショップと樽川ヴィンヤードを展開 ※ヴィンヤード: ブドウ畑



2023年9月、北海道大学は札幌キャンパス内に学内共同プロジェクトの拠点となる「北海道大学ワイン教育研究センター」を開所(設立は2022年4月)。道産ワインの試飲(有料)やセミナー開催で一般開放の予定も。



### 札幌は「ワインの街」だった!?

地球温暖化のためか、北海道の農作物は、どんどん進化しているようで、困難とされてきた良質なワイン用ブドウの栽培と、質の良いワイン造りの可能性が広がり、各地に続々とワイナリーが誕生している。北海道は今、山梨、長野に次ぐ国内第3位のワイナリー数(60以上)。この10年で3倍以上に急増)を誇る日本有数のワイン産地になっている。北海道のワイン醸造の歴史は、1876(明治9)年、開拓使が開設した「札幌葡萄酒醸造所」に始まる。その廃業で、1913(大正2)年から途絶えていた北海道のワイン生産は、1960年代に十勝・池田町で復活し、富良野や函館、

七飯、小樽など、道内各地に広がっていった。そして2001(平成13)年、札幌市中央区・盤渓峠の中腹に開設された「ばんけい峠のワイナリー」で、札幌のワイン醸造の歴史が再開。2009(同21)年には南区藤野で「さっぽろ藤野ワイナリー」がワイン製造を始め、南区砥山には2011(同23)年に「八剣山ワイナリー」が誕生した。さらに2020(令和2)年、手稲区新発寒で「さっぽろワイン株式会社」が開業。ばんけい峠のワイナリーは昨年3月に醸造を終了して23年の歴史に幕を閉じたが、この春、中央区の北大植物園隣接地で都市型ワイナリー「リベラワインテラス」が醸造を開始。市内に4つのワイナリーがある札幌は、いずれ「恋の町」「ビールのまち」だけじゃなく、「ワインの街」と呼ばれる日が来るのかもしれない。

さっぽろ★トリビア、知っているのと役立つかも！